

枚方市駅周辺大型開発より 防災、子育て、教育、福祉のまちを

市議会3月定例会で3月13日に共産党議員団を代表して新年度予算について質問し、15日最終日に予算討論をしました。その一部を報告します。

計画が決まっていない、住民合意のない 市駅前市街地再開発事業は中止せよ

枚方市駅周辺再整備基本計画は、計画策定を今年3月から1年先送りしました。しかし、③街区を先行するとして「長期財政の見通し」に75億円、新年度予算にもその事業費が一部計上されました。

私は③街区だけでも28億円、④⑤街区を実施すれば道路整備や学校など公共施設の維持補修に支障が生じる。長期財政計画を示せない事業はやめるべきと求めました。

また「天の川沿いの区画道路は住民と協議してから進めるべき」と求めた質問



に、土木部長は「河川管理者や関係機関と協議し、堤体の安全性や排水計画を検討しており、引き続き地域の皆様の声を聞きながら、環境や防災面に配慮して進めていく」と回答しました。

さらに市駅前市街地再開発事業は住民や事業者の意見を聞いて進めるように市長に質問しました。

市長は「公聴会などを通して市民意見を聴きながら、よりまちの魅力が高まるよう進めていく」と答えました。私は、まちの安全と住民の意見を優先すべきだ。住民の声を無視する進め方はやめるよう求めました。



公立保育所つぶしは許せない 渚保育所と渚西保育所存続を

これまでの保育ビジョンを無視した「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」で、突然に渚保育所を廃止。もともと地域拠点施設としていた渚西保育所と統合したのち民営化するとしています。12月議会で、まず当該の保育所保護者や、地域に説明をと求めていたにもかかわらず、説明が一切ないままに新年度予算で予算計上されたのは問題です。行政の怠慢であり許せません。保育所は子どもと地域のものです。

募集要項が守られなくても 走谷保育所は4月から民営化

4月から民営化される予定の走谷保育所では、「本年1月から3月の3か月間共同保育を実施し、法人は各クラスに保育士を配置」と募集要項にあるにもかかわらず、実態は受託法人が保育士確保できずに1月、2月に共同保育が完全には実施されておらず、4月に民営化するのは契約不履行ともいえるものであり、やめるべきだと質問しましたが「共同保育を開始している」と4月から民営化すると答えました。子どものために不十分な継ぎでの民営化はすべきではありません。

校区福祉委員会、小地域ネットワーク事業 校区コミュニティで活動を保証する制度を

校区コミュニティ活動補助金の見直しで、新年度から小地域ネットワーク事業補助金50万円が弾力的に活用できる「基礎額」に移行されます。私は「今回の見直しを実施主体の校区福祉委員会、社会福祉協議会の了解も得ずに決めたのは問題であり、改善が必要になれば再検討すべき」と質しました。

部長は地域の意見を聴きしながら、よりよい制度となるよう、今後も引き続き検討を進めていくと答えました。

私は検討にあたっては、校区福祉委員会や社会福祉協議会からの意見を聞いた上で、検証、改善するよう要望しました。

その他の質問

- ◇市立ひらかた病院でも他病院のように巡回バスの運行を
- ◇くすの木園は市直営で
- ◇中央図書館の図書館司書の退職補充を行え
- ◇空き店舗対策の充実を求め、取り組みを検討すると答弁



防災力向上を先送り 何よりも防災力向上を

巨大地震など自然災害に備えるための防災力向上の課題は多岐にわたります。最優先に進めるため必要な拠点となる災害対策本部設備の充実や議会・市民から出された課題を実施するよう求めましたが、「中長期に検討する」と答弁し、先送りしたことは問題です。私は特に「防災によるまちづくり」と地区防災計画の策定を求めました。

児童相談所設置を求める

児童相談所を枚方市も設置するよう求めました。

部長は、設置の可否を検討している。設置に関連して、一時保護所や乳児院及び児童養護施設の整備が必要となることや、児童福祉司など専門職の確保や育成、児童相談所運営等に係る経費の負担が大きいことなどが課題だと答えました。

私は、経費の負担を言われるのは残念だ。子どもの命を最優先に設置に向け、専門職の確保、育成を今から取り組むべき。非常勤職員の正職員化を早急に取り組むこと。児童養護施設の誘致を積極的に取り組むよう求めました。



ひらかたポイント、高齢者お出かけ推進事業
 高齢者お出かけ推進事業のポイント付与事業実施場所、事業に参加して貯めた高齢者専用ポイントを、ひらかたポイントやお出かけ

これでは高齢者の外出支援にならない

交換ができるひらかたポイント事業と連携して、更なる外出支援につながることを説明されてきた高齢者お出かけ推進事業は不十分であり、高齢者外出支援カード配布事業の代替え事業とは

ポイントカードよりも巡回バスの運行を

推進チケットに交換する場所が市役所、福祉センター、楽寿荘だけでなく、サプリ村野や生涯学習市民センターなどでもできるようにすべきだと問いました。また、市の実施する健康体操等にポイントを付ける

いけない。ポイント事業経費約1億円で、簡単に利用できる公共交通運賃助成制度と公共施設循環バスを市が独自で走行させるべきと要望しました。

部長はポイント交換場所は手法を検討する。地域の自主的な集まりなどへのポイント付与は、ひらかたポイント事業との連携を踏まえた関係者と協議・調整をして、引き続き検討していくと答えました。

一方で、校区福祉委員会や自主的サークルが健康体操等を実施してもポイントが付かないのはおかしいと質しました。

いじめのない楽しい学校環境を

質問の答弁で平成29年度認知した「いじめの件数」は、小学校1198件、中学校113件、合計1311件と増加の傾向にあります。中学校の数が少ないのはいじめを認知しない現場の実態を示しており改善を求めました。いじめや不登校の増加に対応し、子どもに寄り添った指導を充実させる少人数学級の推進、スクールソーシャルワーカーの各校への配置、子どもの居場所ともなる学校図書館の開館時間の延長と、小学校への司書配置を要望しました。

英語嫌いを増やすテストはやめよ

中学2年生が勉強していない中3の範囲までの問題が出る「英語外部検定試験」は委託料1560万円もかけて、わからないテストをやらされて、生徒が苦痛を感じている、英語嫌いになったという声もあります。学校現場、生徒の意見を聞いて見直すよう指摘しました。

教師の多忙化改善へ業務改善を

時間外60時間以上が平均で27・6%と教諭の勤務実態は依然として多い。学習指導要領以外のイベントなど教育委員会が一律に現場に押し付ける業務を削減すべきと求めました。



「地域で元気な高齢者を日本手ぬぐいなどを渡し、励まし、祝っていただきたい」と要望、実現しました。

日本手ぬぐい実現

昨年の9月定例会で災害時のドローンの活用を求めました。消防組合で新年度購入されます。

ドローン 消防に導入



中宮33号線歩道フラット化工事 新年度工事が始まります



新年度に
実現します



市民の願いにこたえる枚方市議会の実現を

3つの意見書が1票差で不採択に

共産党議員団が提案した意見書の賛否一覧表	共産党 4人	自民党 3人	未来・維新 5人	※公明党 (8人) 7人	連合市民 7人	民主市民 3人	平和市民 1人	自民清和会 1人	結果
①2019年10月からの消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書	○	×	×	×	○	○	○	×	不採択
②大阪府の教育環境の充実を求める意見書	○	×	×	×	○	○	×	○	不採択
③国民健康保険の抜本的改善と保険料の引き下げを求める意見書	○	×	×	×	×	×	○	×	不採択
④女性の経済的自立の促進に向け所得税法の見直しを求める意見書	○	×	×	×	×	×	○	×	不採択
⑤加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書	○	×	×	×	○	○	○	×	不採択

②は大阪府知事に対して教育予算の充実、少人数学級推進、支援学校増設を求めました。③は政府に対して1兆円規模の公費負担増を実施し、保険料を「協会けんぽ」並みに引き下げることなど、5項目を求めました。⑤は9割が全額自費で購入している補聴器購入への公的補助制度を政府に求めました。 ※議長会派のため賛否は7人